



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	雑報
Citation	北海道大學法經會論叢, 13, 149-149
Issue Date	1953-07
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/10750">https://hdl.handle.net/2115/10750</a>
Type	other
File Information	13_p149-149.pdf



# 法経会記事

法経会論叢の復刊と共に、法経会の行事も研究会の開催その他の面にわたり可成りの伸展を示したことはまことに欣快にたえない。しかしこの間、会員の間に若干の變動があつた。いま、復刊以来今日にいたる迄の法経会主催の例会・行事・会員の移動等についてみれば次の如くである。

## ◎研究報告

佐々木惣二郎 「日本国憲法第一条の本質的意義」(昭和二十七年二月二十九日)

高嶋正彦 「かくれたる経費に関する一考察」—アンケート調査を中心として—(昭和二十七年五月十三日この報告においては、農村における出役労働に関する財政学的考察に問題の核心がおかれた)

岩元典一 「牛乳生産費に関する一モノグラフ」(昭和二十七年六月二十七日)

西田昭三 「ソヴェート・ロシアの社会主義」(昭和二十七年七月二十九日)

清水川繁雄 「英国社会主義論考」(昭和二十七年九月三十日)

渡辺侃 「雇傭効果の理論」(昭和二十八年六月二十日)

◎行 事 ・ 会員移動

松田教授帰朝歓迎会 (昭和二十七年五月二十日) 於農経教室

大爺助教帰朝・足羽講師就任歓迎会 (昭和二十七年七月二十九日)

於農経教室  
和田助教送別会 (昭和二十八年四月二日)

於農経教室  
西田大学院特別研究生送別会 (昭和二十八年四月九日)

於農経教室  
南助手・佐々木助手送別会 (昭和二十八年五月十三日)

於清楓荘  
尙・和田助教兼(は明治大学法学部)、南博士は北海道大学に助教として聘任され、西田特研究生は横浜バンク・オブ・アメリカに就職、佐々木助手は家業につか

るため北海道大学を去られた。

また新会員として、足羽進三郎・遠藤順三・原田和幸・清水川繁雄・杉上忠幸・高山崇竹内寛・須藤友四郎の八氏の入会を見た。

◎その他

上原・中島両名誉教授額入記念写真(全紙版)を作成。(昭和廿八年六月)近日その掲額式を開催の予定。

一ヶ年間の法経会会計報告を昭和廿八年六月廿五日に行い承認を得た。(金田記)

## 編 集 後 記

◇お待ちかねの法経会論叢第十三集をお送りする。本集ははじめ三月に発行の予定であつたが、諸般の都合から七月まで遅延し、甚だ申訳けないと思ふ。しかし次集からはかゝることのないよう定期に発行の予定であるから、会員諸氏もそのつもりで御寄稿

ねがいたい。本集の編集にはいろいろ意に満たぬ点が多い。論文の外に紹介、批評の類も掲載する予定であつたが、編集者の怠慢から依頼の時期を失したかゝる体裁で発行せざるを得なくなつたことは、かえすがえすも残念である。

しかし本集には新人の業績の外に、矢島・大爺・南の先輩諸氏の労作を加えることができ、本誌の内容を更に充実することができたのは何よりの喜びである。

印刷費、紙代等の値上りにより、財政的基礎の薄弱な本会にとつて、会誌の発行は容易なことではないが、会員各位の御援助によつて歴史ある本誌の発展を期したい。(林)

## 法 経 会 論 叢

第13集

昭和廿八年七月十日印刷  
昭和廿八年七月十五日発行

編集兼発行者 非売品  
札幌市北海道大學農学部内

代表 法 経 会  
渡 辺 侃

印刷者 札幌市北七條西一丁目  
石 川 正

印刷所 札幌市北七條西一丁目  
北海道土地株式会社